

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院の長期腹膜透析患者の臨床・病理学的検討
研究責任者	高上紀之
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>腹膜透析液生体適合性の改良(中性化)と日本独自の治療法である腹膜透析・血液透析併用療法の普及により長期にわたって腹膜透析を継続する患者さんが増えてきています。</p> <p>今までは長期に腹膜透析を継続することは被嚢性腹膜硬化症(EPS)のリスクであるとされてきましたが、酸性の透析液を使用していた時代の報告に基づいており、現状の中性液において長期腹膜透析のデータは乏しいのが現状です。本研究は当院で腹膜透析を10年以上継続している患者さんの臨床所見・腹膜病理所見を収集・解析し、適切な腹膜透析の継続方法を検討することを目的としています。</p> <p>本研究を行うことで、長期でも安全に腹膜透析が継続できる方法への知見が得られることが期待され、腎代替療法の幅が広がることで腎不全患者さんへ還元されます。</p>
研究方法	<p>2012年1月～2022年12月に日本赤十字社医療センターで診療を行った腹膜透析患者さんのうち、10年以上腹膜透析を継続している患者さんを対象とします。腹膜機能・透析効率・透析に関連した採血検査結果・画像所見・生理機能検査所見などを診療録から収集します。また腹膜生検を施行している患者さんでは、病理所見から腹膜の肥厚の程度や血管の状態を評価します。</p> <p>得られた結果をまとめて、それぞれの因子の関連などを統計学的に検討します。</p> <p>研究において氏名・住所などの個人情報が分からないように加工された状態で、保管します。</p> <p>また得られた研究結果を学会・論文などで報告する可能性があります。</p> <p>本研究に関して質問がある場合や、診療情報の研究への使用を承諾されない場合は下記まで問い合わせをお願いいたします。</p> <p>承諾されない場合においても、診療において患者さんに不利益が生じることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：石橋由孝 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>